

# おはようございます！

2022年8月20日(土)  
第72次米沢地区  
国民教育研究集会

## 憲法をいかし、平和を守り、真実をつらぬく民主教育の確立を！

### 今次教研の基調

おはようございます。3年ぶりに国民教育研究集会を開催します。

今年は1月のコロナ第6波の急拡大に始まり、2月にはロシアによるウクライナ侵略、3月は福島沖地震で東北各地の大きな被害、7月には安倍元首相への銃撃、コロナ感染は過去最大の第7波、参議院選挙で改憲勢力が3分の2を大きく超え、8月には大雨特別警報での甚大な被害と、本当に大変な事件が相次ぐ年となっています。



#### 安倍元首相への銃撃と国葬

どのような理由や背景があるにせよ、暴力は絶対に許されません。

しかし、安倍政権が残したものを「素晴らしい業績」などと賞賛し国葬にすることには賛同できません。安保法制(戦争法)の強行、アベノミクスの名のもとでの格差と貧困の拡大、「異次元の金融緩和」による終わりの見えない物価高、モリ・カケ・桜問題での国政私物化と公文書改ざん、反社会的団体との関係などなど……。

何の法的根拠もなく閣議決定された国葬に対し、世論調査で反対の意見が多いことは、国民の多くがアベ政治に対して肯定しているわけではないという証左です。

#### 戦後最悪の安倍政権

教育にとっても、安倍政権は戦後最悪の政権でした。

教育基本法の改悪に始まり、教育三法の改悪(教員免許更新制、指導力不足教員認定、主幹教諭など教員の階層化)、共済年金を無理やり厚生年金に統合し、退職金を約500万円も大幅削減、人事評価制度による賃金差別、中堅研修など管制研修の強化、道徳・英語の教科化、変形労働時間制導入など、今私たちを苦しめている多忙化、研修強化、教職員不足の原因は、すべてこれら安倍政権での教育政策にあります。

安倍政権は、自らの野望である憲法改正のため教育をその手段とし、教員を国家権力に忠実な下僕にしようと様々な統制と圧力を加えてきました。

その結果、教員の7割以上が過労死ラインを超え、教員への新たな志望者も激減し、今の教員不足を招いたことは疑いようもない事実です。

#### 深刻な教員不足

アベ政治が教育を破壊し、教育の仕事に就こうという若者が激減したことで、今学校は深刻な人手不足に見舞われています。どの学校でも青年層が多くなり、産休や育休を取得する先生も増えていますが、ほとんどともに産育病休代が配置されることはありません。教頭や担外が担任になったり、免許外教科を担当したり、支援員や短時間勤務の方を配置換えてフルタイム教員に任用したりと、授業に穴が空かないよう必死に対応しています。またコロナ感染も過去最高を更新し、普通の学校生活に戻る見通しもたちません。

#### 未来を切り拓く眼と腕(かいな)を子どもたちに

これは1980年代、山形県と米沢市の青年教研のスローガンです。県では毎年約400名、米沢市でも毎年100名以上の青年教師が参加し学び合いました。現状への当面の対応だけでなく、未来への希望を大いに語り合った教研でした。

憲法9条改悪、軍事費2倍、あげくは核共有などが声高に叫ばれるだけでなく、国民世論も右傾化している今こそ、このスローガンは再び輝いているように思います。

私たちは、教育の仕事を一生涯の仕事として選びました、子どもたちと共に生きがいのある仕事にするため、私たち自身も未来を見据え、一緒にがんばっていきましょう。